

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	門真市			代表者名	宮本 一孝
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画財政部ICT推進課	連絡先電話番号	06-6902-5793
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	大中 伸彦	連絡先E-mail	
住所	571-8585 大阪府門真市中町1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	テレワーク推進事業、DX関連事業
概要	コロナ禍を契機として導入したテレワーク制度について、今後システムの更改を行うに当たりより良い制度とするための技術的なご助言をいただくとともに、デジタル田園都市国家構想交付金活用事業に対する外部評価や課長級職員に対する自治体フロントヤード改革とDX推進についての研修を実施していただくもの。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 働き方 テレワーク		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	52	令和6年10月10日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻		
	令和6年10月11日	支援・助言	10時00分	12時00分	
				活動時間（分）	120

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	テレワーク推進事業の進捗報告やDX人材育成研修への課題、また新庁舎での窓口のあり方等について、先進事例の紹介や推進していく上でのポイント等を丁寧に助言いただくとともに、最近の国の動き等についてご紹介いただいた。
アドバイザーへの要望事項	引き続きテレワーク推進事業やその他のDX推進のための各種事業の諸課題への対応についてご指導ご助言いただくとともに、最終回においてはデジタル田園都市国家構想交付金活用事業のフォローアップをお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	4人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	4	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	市全体のDXを推進するにあたり、これまで幹部職員や管理職員、DX推進リーダー等に対して、研修を通じて、DX推進への理解や意識醸成を行ってきたが、更にDXを推進していく上でいかにDX推進人材を育成していくかが課題である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	市全体のDX推進に対する理解を深めていくには、情報部門のみならず各所属において、業務や行政サービスの改善意識を醸成する必要があり、それを実践するDX推進人材を育成することで、効率的かつ利便性の高い行政サービスを提供することにつながる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DX推進人材を育成するための研修について、これまでの研修において幹部職員や管理職員等に対して機運醸成がある程度進んでいることから、今後においては、より具体的なテーマに絞り実施していくことが効果的であると助言いただいた。また、DX推進人材の育成は、情報部門のみではなく全部門に係るテーマであり、新規職員や昇級時等、各階層単位で実施していく必要があることや他市においてはWord、Excel等の研修に応募者が募集枠を超えた事例がある等、リスクリングの重要性を助言いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今後のDX推進人材育成研修におけるテーマ設定等の参考にしていく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	③現段階では課題・問題が残っているため未定
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	DX推進人材育成に係る研修について、より具体的な対象者やテーマを設定していく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DXに関する研修などを通じ各所属で自律的主体的にDXに取り組める状態	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



地域情報化アドバイザー支援 第4回(打合せ)

日 時：令和6年10月10日(木) 10時～

実施方法：オンライン (門真市役所本館4階第8会議室を使用)

内 容：

